



## 恐竜は何種類いたの、どんな種類がいたの

### 700種類以上いた

恐竜が何種類いたか、という正確な数はわかりません。今でも、新しい種類の恐竜が発見されることが、よくあります。今までに発見された恐竜の化石は、およそ700種類ぐらいといわれますが、それ以上かもしれません。

恐竜は、わかっている最大のものはセイゾモサウルスで、頭からしっぽの先までの長さが40～50メートル、いちばん小さいものでは、体長60センチメートルというニワトリぐらいの大きさであるコンプソグナトゥスがいます。2億2000万年前～6500万年前までの、およそ1億4000万年もの長い間、仲間の種類や数をたくさん増やして、さかえた動物です。その仲間分けをしてみると、つぎのようになります。

### 腰の骨の形で分類

恐竜は、腰の骨の形で、トカゲの腰の骨と似たタイプの竜盤目と、鳥の腰の骨と同じタイプの鳥盤目の二つに分けられます。

竜盤目は、さらにティラノサウルスなどの食肉竜、ブラキオサウルスのような草食恐竜のグループの竜脚類、ブラキオサウルスの先祖といわれるプラテオサウルスなど古竜脚類、ダチョウにそっくりで、いちばん走るのが速いオルニトミムスの仲間などに、分けられます。

鳥盤目は、どれも草食恐竜です。大トカゲのようなイグアノドンや、アヒルのような口をもつランベオサウルスなどのいる鳥脚類、背中にけんを背おったようなステゴサウルスなどの剣竜類、アンキロサウルスのようなよろいをきた曲竜類、トリケラトプスのような角とえりかざりをもつ角竜類、などの仲間に分けられます。(監修・今泉 忠明)

